

中村学園大学
流通科学研究所 所長 甲斐 諭

平成22年6月19日、本学・西2号館において、第5回流通科学研究所国際セミナーを開催いたしました。

今回は、共通テーマを「アジアの食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向～日中韓の新動向～」と題し、日本・中国・韓国の著名な研究者を招待して講演を行いました。



当日は各界から175名の方々にご参集いただき、各講演について多くの質問がなされ、活発な国際セミナーとなりました。

ここにご参加いただいた皆様へ改めて御礼申し上げますとともに、今後とも流通科学研究所へのご理解とご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。



甲斐所長



植田孝氏



馬増俊氏



崔炳玉氏

詳細事項

日時	平成22年6月19日(土) [受付]13時30分～ [講演]14時00分～17時00分 [懇親会]17時00分～18時30分
場所	中村学園大学【講演会】西2号館4階2405教室 【懇親会】食育館 福岡市城南区別府5-7-1
共通テーマ	アジアの食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向～日中韓の新動向～

講師プロフィール

大果大阪青果株式会社 代表取締役社長 植田 孝

講演テーマ

「日本の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」

1943年生まれ。1962年大果大阪青果株式会社入社。2002年同専務取締役北部支社長を経て、2009年現職。同社の事業としては、野菜・果実及びその加工品の販売、青果物等の輸入並びに販売などを幅広く手がける。生産地との信頼、仲卸との協調を深め消費者の求める安全・安心の生鮮青果物の安定した価格で供給できる体制の確立に努める。現在、大阪府中央卸売市場協会の理事。

中国全国城市農貿中心連合会 会長 馬 増俊

講演テーマ

「中国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」

1964年生まれ。1985年中国北京工商大学卒業 企業管理(学士)。1994年国家国内貿易省(現在の商務部)消費財流通司副処長、1998年国家貿易局消費財流通司処長。2000年全国城市農貿中心連合会常務副会長を経て、2004年現職。同連合の機能としては、中国の農産物流通分野で広範な社会基盤をそなえており、行政と企業との架け橋の役割を果たしている。農業生産物流通企業に対して公正かつ迅速に、審査、認証、技術改良と監督を行っている。

韓国農村経済研究院 部研究委員・博士(農学) 崔 炳玉

講演テーマ

「韓国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」

1974年生まれ。2002年高麗大学校大学院農業経済学科修士課程修了。2006年筑波大学国際地緑技術開発研究科博士課程修了。2007年韓国農村経済研究院 専門研究員、附研究委員を経て、2010年現職。同研究院の主な機能としては、生産経済及び土地政策などの農漁村経済の研究、農漁村の社会構造と福祉政策などの農漁村社会研究、農漁民の世論を政策に反映するための農漁民世論調査。農水産公職者及び農漁民の経済教育など。その他に、行政府と公共機関が委嘱する短期政策課題や政策協議会などを通して随時、政策事業を支援している。